

令和 5 年度 決算

普通会計 決算認定特別委員会 説明資料

教 育 委 員 会

目 次

I	令和5年度教育委員会主要施策の成果の概要	- - - - -	3
II	主要事業の内容及び成果	- - - - -	8
III	歳入歳出決算額	- - - - -	1 7
1	一般会計決算額	- - - - -	1 7
	(1) 歳入決算額	- - - - -	1 7
	(2) 歳出決算額	- - - - -	1 8
2	特別会計決算額	- - - - -	1 9
	(1) 歳入決算額	- - - - -	1 9
	(2) 歳出決算額	- - - - -	1 9

I 令和5年度教育委員会主要施策の成果の概要

〈徳島教育大綱（令和元年度～令和5年度）の基本目標〉

「未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる『人財』の育成」

未知を切り拓く共通戦略

1 G I G Aスクール構想の展開 (教育D X推進課)

- (1) 「徳島県G I G Aスクール構想」に基づき整備された児童生徒1人1台端末と高速大容量の校内L A N、セキュリティの高いクラウドサービス等、学校におけるI C T利活用環境を確保し、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進するとともに、教員のI C T活用指導力向上や実践事例を普及・展開することにより、多様な児童生徒の可能性を最大限引き出し、新時代に対応できる資質・能力の育成に努めた。
- (2) 学校や家庭での1人1台端末を含むI C Tを利活用した教育活動を推進するため、I C Tの利活用に関するヘルプデスク運営などを行う、県と市町村が連携した広域での「G I G Aスクール運営支援センター」を継続設置するとともに、県立学校での授業等におけるI C T利活用とI C T環境の維持を支援する専門人材を配置するなど、サポート体制の充実に努めた。
- (3) 教育データの活用等による学びの充実強化につなげるため、C B T (Computer Based Testing：コンピュータを使った学習) による教育データ利活用研究の拡充や学校の通信環境の充実に努めた。

2 働き方改革の推進 (教育D X推進課、教職員課、義務教育課、体育健康安全課)

- (1) 県立学校及び全ての公立小中学校に導入されている「出退勤管理システム」により、働き方を見える化し、より適切なタイムマネジメントにつなげるとともに、学校における働き方改革を推進するため、「統合型校務支援システム」を含む「学校業務支援システム」の運用に努めた。

また、児童生徒1人1台端末環境の更なる活用を図ることにより、学校現場におけるデジタル化を一層推進し、授業準備の省力化やペーパーレス化の促進など、教職員の業務負担軽減に努めた。

- (2) 一人ひとりの学習定着度に応じたきめ細やかな指導を図るため、授業準備の補助やT T（ティーム・ティーチング）指導、放課後等を活用した補習授業等を行う学習指導員（学びサポーター）を引き続き配置した。

また、教員の業務支援を行い、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、教員の「働き方改革」の実現を図るため、市町村立小中学校における教員業務支援員の配置を支援した。

- (3) 生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するとともに、学校の働き方改革を推進するため、中学校における休日の運動・文化部活動の段階的な地域移行に向けた、指導者の確保や関係団体との連携強化等に関する実証事業を実施した。

3 ダイバーシティとくしまの実現 (義務教育課、特別支援教育課)

- (1) 「ダイバーシティ先導モデル」としての機能強化を目指す、国府支援学校の整備を進めるため、文部科学省が令和3年9月に公布した「特別支援学校の設置基準」に即応し、「安全で快適な教育環境」はもとより、多機能で自由度の高い「作業スペース」の整備や「文化・スポーツ活動」の核となる施設整備などを進めるプロジェクトの先駆けとなる「新校舎棟」の工事に着手するとともに、「新体育館棟」の実施設計を行った。

- (2) 「ダイバーシティとくしま」やSDGsの実現に向けた特別支援学校における新たな取組を創出するため、企業等との協働による「地域連携イベント」や「スポーツ活動」に加え、県産野菜等を活用した「新たな6次産業化」等の取組や、「エシカル消費」の活動にチャレンジするとともに、その取組を地域へ広く発信する等、幼児児童生徒と社会との交流を促進した。

- (3) 学び直しを希望する人や外国籍の人などに対する義務教育の段階における普通教育に相当する機会を確保するため、県立の夜間中学「しらさぎ中学校」の運営と教育活動の充実に努めた。

重点施策

4 未来を創る教育の推進

(施設整備課、教育創生課、高校教育課、体育健康安全課、生涯学習課)

(1) 「持続可能な社会」を具現化する取組

令和4年4月に成年年齢が18歳以上に引下げられたことに伴い、高校生が在学中に「成年」となることから、自分らしく自立し、責任を担い協働できる若者を育成するため、高校生の積極的な社会参画を推進する事業を展開した。

また、持続可能な社会づくりに挑む若者を育成するため、積極的にエシカル消費推進を実践している全国の高校生が、その取組に関する発表を行う「エシカル甲子園」を開催した。

さらに、県内外から生徒が集う多様性のある学校づくりを進め、高校の更なる魅力化を推進するため、県内遠隔地や県外からの入学希望者の増加に伴い、満室状態にある総合寄宿舍（阿南寮、三好寮）を増設し、生徒の受入体制を拡充した。

(2) 「地域教育」による教育魅力化

将来の地域を支え、持続可能な社会の創り手となる人材を育成するため、家庭や地域、経済団体等と連携した取組を推進するとともに、児童生徒のキャリアプランニング能力を育成する「キャリア教育」を展開した。

また、人口減少が急速に進む地域の高校において、その魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力を創出するため、豊かな資源を活かした活動を展開し、地域を挙げて、地元はもとより県内外から生徒が集う学校づくりを進めた。

(3) 未来を守る教育の推進

南海トラフ巨大地震等の自然災害に備え、地域防災の担い手となる人材を育成するため、児童生徒の防災教育の推進や、中・高校生及び教員の「防災士」資格取得の支援を推進するとともに、中学校、高校の「防災クラブ」が自主的な活動を行う体制づくりを進め、地域に根ざした積極的な防災活動を展開した。

また、児童生徒が安全・安心に学ぶことができる教育環境を確保するため、「県立学校施設長寿命化計画」に基づき、県立学校施設を長く賢く使えるよう整備した。

さらに、「電気料金等高騰」や「将来的な生徒数の減少」、「熱中症対策」などに万全を期すため、保護者負担により設置された空調設備のリース料等を県負担に切り替え、将来にわたり、生徒の安全・安心で「快適な教育環境」の整備に努めた。

5 多様な学びの充実

（教育創生課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、生涯学習課）

（１）真の知性を育む「深い学び」の実現

脱炭素社会の実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境負荷の低減や自然との共生に継続的に取り組む学校を、本県独自に「とくしまGXスクール」として認定し、児童生徒一人ひとりの意識改革と行動変容を促す取組を推進した。

また、6次産業化を担う人材を育成するため、県立高校において、農工商連携による「徳島ならではの」の地域資源を活かした「生産・加工・販売が一体化した6次産業化教育」を推進した。

（２）個性が輝き、一人ひとりが活躍できる「特別支援教育」の推進

特別な支援を必要とする幼児児童生徒や医療的ケア児の支援充実のため、教員の専門性向上に向けた研修の実施や「医療的ケア児等支援センター」と連携した医療的ケア児一人ひとりの社会参加支援の促進など、特別支援教育の「専門性向上」や「サポート体制の構築」に努めた。

また、発達障がいのある幼児児童生徒について、就学前から卒業後の就職まで切れ目のない支援体制を構築するため、本県独自の「ポジティブ行動支援」の深化を図るとともに、テレワークをはじめとする就労支援を推進した。

（３）世界に羽ばたく「グローバル人財」の育成

大阪・関西万博の機会を捉え、県内の中学生が日本や本県への愛着や誇り、国際的視野を備え、万博の意義や本県の魅力を英語で伝える力を育成するため、万博の理念やテーマであるSDGsについての学びや、オンライン・合宿による「英語漬け体験」活動の機会を提供した。

また、グローバル化が進展する社会を生き抜く「人財」を育成するため、4技能（聞く・読む・話す・書く）型の英語試験を活用し、生徒の英語力を的確に把握するとともに、学習改善及び指導改善のPDCAサイクルを更に充実させ、社会に求められるバランスの取れた使える英語力の育成を目指した。

6 健全な心身の育成

（義務教育課、高校教育課、いじめ・不登校対策課、体育健康安全課）

（1）心身の成長サポート体制の強化

いじめや不登校、虐待など、児童生徒を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、スクールカウンセラー等の専門家や関係機関との連携による教育相談・支援体制の充実による生徒指導ネットワーク体制を構築し、児童生徒が安心して学べる環境の実現を図った。

また、困難な事案を抱える児童生徒及び家庭を支援するため、多職種の専門家による「子どものリスク対応・支援チーム」を設置するとともに、児童生徒が抱える様々な課題やリスクについて、「AIシステムを活用したスクリーニング」による早期発見・早期対応への「支援モデル」を構築し、県内の自治体・学校への横展開に努めた。

さらに、肥満傾向の改善及び裸眼視力の低下を予防するため、小学校において、「児童の屋外活動」を促進するとともに、生活習慣の振り返りに努めた。

（2）部活動の充実・強化

運動・文化部活動の質的な向上や活性化を図るとともに、教員の業務負担軽減につなげるため、専門的な知識・技能を有し、単独で指導や引率ができる部活動指導員の配置を拡充した。

また、次世代に誇るレガシーを創出し、我が国の伝統文化を担う人材を育成するため、児童生徒の交流活動を支援するとともに、文化芸術活動の成果発表の機会を広く提供した。

（3）「躍動スポーツとくしま」の実現

高校スポーツにおいて、全国大会等での継続的な入賞を目指すため、「競技力向上指定校」において、強化活動や指導者育成への集中的な支援に努めた。

また、令和5年8月に四国4県で開催された全国中学校体育大会の円滑で安心安全な運営を支援するため、開催に要する経費の一部を支援した。

Ⅱ 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1. G I G Aスクール構想の展開	徳島県G I G Aスクール構想推進事業	G I G Aスクール構想の実現に向けた取組を加速し、児童生徒1人1台端末を余すことなく活用した、児童生徒の可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、学校におけるI C T利活用環境（授業支援ソフト・セキュリティソフト等）を導入した。 また、令和5年7月より県立学校における1人1台端末の故障が急増したことを受け、補正予算により端末の緊急調達を行った。 (137,788)
	G I G Aスクール運営支援センター整備事業	児童生徒1人1台端末を含むI C Tを利活用した教育活動を推進するため、県と市町村が連携した広域の「G I G Aスクール運営支援センター」を設置し、サポート体制の強化を行った。 (16,623)
	G I G Aスクールサポート人材配置事業	県立学校におけるI C T関連業務を支援する「情報通信技術支援員（I C T支援員）」を民間業者委託により配置し、I C Tを利活用した教育活動を支援した。 (18,863)
	教育データ利活用推進事業	本県独自の学力・学習状況調査のC B T化に向け令和4年度に構築した「徳島県学力調査システム」を使用して、公立小中学校のステップアップテストを実施した。 (39,913)
2. 働き方改革の推進	学校業務支援システム構築・運営事業	教職員の働き方改革推進のため、学校の業務改善に大きな効果がある「統合型校務支援システム」を含む、県下で統一した「学校業務支援システム」の運用を行った。 (20,900)
	新学習指導要領に対応した教科情報指導者研修	新学習指導要領では、全ての高等学校において「情報Ⅰ」が必修科目（専門高校では代替科目が必修）となり、これまで以上に指導体制の充実が求められていることから、担当教員の専門性の向上を目的として、オンライン研修及びeラーニング研修を実施した。 (843)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2. 働き方改革の推進	学びの保障のための学校教育活動事業	公立学校において、児童生徒の学力向上に資する学校教育活動の一環として行われる授業や補充学習、教員の指導力向上支援等のため、退職教員や教員志望の学生等の地域人材を「学びサポーター」として学校に配置し、学びの支援に必要な人的体制の充実を図った。 (14,761)
	教員業務支援員配置促進事業	授業準備の補助や教員が行う事務作業の支援、教育活動に係る事務補助等、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備した。 (20,909)
	運動部活動の地域移行等実証事業	中学校における休日の運動部活動の段階的な地域移行に向けて、「地域人材の確保」や「費用負担の在り方の整理」、「運営団体の確保」などの課題解決を検証するため、実践研究を実施した。 (6,967)
	文化部活動の地域移行等実証事業	中学校における休日の文化部活動の段階的な地域移行に向けて、「地域人材の確保」や「費用負担の在り方の整理」、「運営団体の確保」などの課題解決を検証するため、実践研究を実施した。 (1,308)
3. ダイバーシティとくしまの実現	新時代対応！国府支援学校整備事業	文部科学省が策定した「特別支援学校の設置基準」に即応し、校舎の狭隘化・老朽化が進む「国府支援学校」をダイバーシティの先導モデルとするため、寄宿舎棟の改修工事、新体育館棟の実設計等を進めた。 (1,055,960)
	新時代「特別支援学校SDGs」創出事業	福祉事業所と連携し、小・中学部段階からの農業体験の機会確保を図るとともに、共に育てた野菜等を活用したレシピを生徒たちが考案し、県のキッチンカーとコラボして地域の方に提供した。 また、パラスポーツや文化的な学習の実践、職業スキルを活かした四国霊場札所でのお接待活動等を実施した。 (6,637)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3. ダイバーシティ とくしまの実現	特別支援学校「エシカルチャレンジ」事業	年間を通じて、特別支援学校の児童生徒がエシカル作品等を制作し、地域貢献活動の一環として配布することにより、エシカル消費活動について啓発を行うことができた。 また、地元企業と連携することにより、地域の特産物を活かした商品や製品の開発を行うことができた。 (1,963)
	夜間中学設置推進事業	令和3年4月に全国初の県立夜間中学「徳島県立しらさぎ中学校」を開校し、年代や国籍が異なる入学者の学び直しをサポートするため、多様な学習内容を提供した。 また、令和6年度に向け、入学者募集や広報、入学説明会・相談会の開催を行うとともに、「中学校夜間学級協議会」で市町村や関係機関と連携を図り、入学者への支援の在り方等について協議した。 (2,215)
4. 未来を創る教育 の推進	高校生「シチズン・プライド」育成事業	主権者教育に関する高等学校及び特別支援学校高等部担当教員の指導力向上のための研修や、児童生徒に対しての政治参加や社会参画への意識を高めるための大学教員や選挙管理委員会、県教育委員会指導主事等による出前講座の実施により、主権者教育の一層の充実を図った。 また、高等学校等のリーダーが交流し、それぞれの活動について情報交換等をする「高校生リーダー・未来会議」を開催し、リーダーとしての資質向上を図るとともに、持続可能な社会の実現に向けて積極的に関わっていく力の育成を図った。 (2,103)
	「エシカル甲子園」プロジェクト	次代を担う高校生等が、持続可能な社会の実現に向けた取組成果を発表する「エシカル甲子園2023」では、予選審査を経た本選出場8校によるプレゼンテーションやポスターセッションを実施したほか、エシカル・マルシェの開催により、エシカル消費の大切さを全国に発信した。 (9,454)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4. 未来を創る教育の推進	「新未来の消費者教育」推進事業	自立した消費者の育成のために、多様な主体と連携・協働し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校における発達段階に応じた消費者教育や、持続可能な社会の実現に向けた「エシカル消費」教育を推進した。 (5, 078)
	総合寄宿舍増設事業	阿南寮の新棟を建設し、受入体制の拡充を図った。 また、三好寮の増設工事に着手した。 (541, 277)
	未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト	家庭・地域・経済団体・企業等の多様な主体と積極的に連携し、子どもたちが「ふるさととくしま」の未来を切り拓き、D Xを見据えた「持続可能な社会」を創造する力を身に付けるとともに、自らのキャリアプランニング能力を高めることができるよう、「徳島ならではの」キャリア教育を展開した。 (6, 324)
	ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業	人口減少が急速に進む地域にある海部高等学校において、魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力の創出と「とくしま回帰」を促進するため、豊かな地域資源を活かした教育プログラムやI C Tを活用したグローバル教育を展開するとともに、同校の魅力を効果的に発信した。 また、県外からの入学生を増加させるため、積極的に広報を実施した。 (46, 366)
	世代を超えて開かれつながる社会教育推進事業	持続可能な地域づくりのための若手人材育成と、高校生の多様なキャリア形成や実践型課題解決力などの資質向上のため、学校の枠を超えて集まった生徒がチームとなり、地域で活動するN P O等と連携協働しながら、ファシリテーション・取材交渉・資金調達などの手法を学び、地域の課題解決実践イベントやその経費に充てるためのクラウドファンディングを実施した。 (1, 571)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4. 未来を創る教育の推進	地域防災人材育成推進事業	小学校高学年を対象にした防災学習プログラム「あわっ子防災チャレンジ」を推進し、発達段階に応じた実践的な防災教育の充実を図った。 また、地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため、「学校防災人材育成講座」を開催し、「中高校生防災士」を養成するとともに、学校防災の要であり防災教育に係る指導的立場を担う「教員防災士」を養成した。 (4, 443)
	実践的防災・安全教育総合推進事業	学校における安全教育の充実と推進を図るため、国費事業（学校安全総合支援事業、学校安全教室推進事業）を活用し、災害安全、交通安全、生活安全に関する実践研究・研修に取り組んだ。 (1, 812)
	ふるさと大好き！地域防災推進事業	全ての高等学校に「防災クラブ」を設置し、中学校にも設置を広げ、地域と連携した防災ボランティア活動等に取り組むなど、将来の防災の担い手の育成を図った。 (2, 108)
	県立学校施設長寿命化推進事業	長寿命化計画に基づき、老朽化している建物を改修し、児童生徒が安全・安心に学ぶことのできる教育環境の整備を行った。 (2, 169, 491)
	県立高校空調設備整備事業	保護者負担で運営されていた普通教室等の空調設備のリース契約の残期間を県が継承することで、県の負担に切り替え、生徒の安全・安心で快適な教育環境の整備を行った。 (126, 556)
5. 多様な学びの充実	とくしまGXスクール推進事業	脱炭素社会実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境負荷の低減や自然との共生等、従来の「新 学校版環境ISO」の取組に加え、環境とSDGsの関わりを意識した取組を実践する学校を、本県独自に「とくしまGXスクール」として認定し、児童生徒一人ひとりの意識改革と行動変容を促すなど、小学校段階から高等学校段階まで一貫した取組を推進した。 (3, 732)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
5. 多様な学びの充実	6次産業化実践教育ステップアップ事業	6次産業化を担う人材を育成するため、農工商の学校間及び産業界等との連携による、徳島ならではの地域資源を活かした商品開発を通して、生産・加工・販売が一体化した6次産業化教育を展開した。 (1,859)
	特別支援教育「地域まるごと専門性向上」事業	特別支援学校における「摂食指導」について理解を深め、関係機関及び言語聴覚士、作業療法士等の外部専門家と連携・協力しながら、安全・安心な給食等の指導体制の構築を図ることを目的としてコンサルテーションを実施し、その成果については、研修会を通じて共有・周知した。 また、特別支援学級担任者研修会や特別支援教育コーディネーター研修の実施により、特別支援教育に関わる教員の専門性の向上を図るとともに、特別支援学校のセンター的機能を発揮し、特別支援教育巡回相談員が、幼稚園、小・中学校、高等学校からのニーズに応じて、必要な相談や支援を行った。 (4,234)
	発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業	発達障がいのある児童生徒等への切れ目ない支援のため、県内全ての幼稚園、こども園、小学校、中学校において、本県独自の「ポジティブ行動支援」の拡充を図り、好事例や成果を共有するとともに、社会的・職業的自立に向け、一貫したキャリア教育の充実を図った。 (5,916)
	障がいの生涯学習支援事業	県立総合大学校「まなびーあ徳島」に「障がいの学びコース」を開設し、サテライト校である県立障がい者交流プラザにおいてスポーツや文化・芸術、生涯学習等に関する講座を実施した。 (800)
	World EXPO × とくしま発信プロジェクト事業	万博を契機とした訪日・来県外国人との交流に備え、オンライン学習と一泊の合宿形式による英語漬け体験を実施し、万博の意義や本県の魅力を伝える英語力を育成したほか、万博の理念、テーマであるSDGs、特にSDGs14「海の豊かさを守ろう」について、考え行動できるよう英語で学ぶ機会を提供した。 (1,958)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
5. 多様な学びの充実	世界スタンダード英語4技能育成事業	中学校2年生を対象に、令和4・5年の2年計画で、客観的な指標による4技能型テストを活用し、生徒の英語力を適切に把握するとともに、事前・事後研修会や成果報告の情報共有などを行うことにより、生徒の学習改善及び教員の指導改善のPDCAサイクルの更なる促進を図り、中学校全国学力・学習状況調査や社会に求められるバランスの取れた使える英語力育成を目指して実施した。 (7,627)
	徳島グローバルスタンダード人材育成事業	社会の多様な場面で急速にグローバル化が進む中、本県の成長を牽引する人材を育てるため、友好協定を締結しているドイツ・ニーダーザクセン州や経済交流が活発化するアジア諸地域との間で、オンライン等を活用して学校間交流促進による教育環境の国際化を図り、世界基準（グローバルスタンダード）での教育展開を行った。 (1,208)
	Global×Challengeプロジェクト	希望する小学校を対象に本県在住留学生を派遣し、異文化交流の機会を提供した。万博のテーマである「多様性を認める世界」を踏まえ、多様な文化や言語への理解や寛容の精神を備えた人材を育成し、英語を用いて、日本・徳島の文化を外国人に発信することへの興味・意欲の醸成を目指して事前学習、メインプログラム、事後学習を実施した。 (1,883)
6. 健全な心身の育成	徳島あわっ子“愛♡藍”ネットワーク事業	不登校、いじめや暴力行為などの児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見のため、スクールカウンセラーを各学校等に配置するとともに、スクールソーシャルワーカーを市町村教育委員会に配置した。 また、学校問題解決支援チーム派遣として、より高度で専門的な知識を有するスクールプロフェッサー（医師、臨床心理士、社会福祉士等）を学校等へ派遣するとともに、スクールロイヤー活用事業として法律の専門家である弁護士が学校をサポートするなど、教育相談体制の充実を図った。 (137,613)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
6. 健全な心身の育成	徳島こどもサポートネット事業	様々な心理的リスクを抱える児童生徒及び家庭への対応や支援策を協議するケース会議等において、「多職種の専門家による支援チーム」が専門性の高い支援を実施することにより、複雑化・多様化する困難事案に対する学校の対応力強化を図った。 また、A I機能をもつスクリーニングシステムを活用したチーム支援体制を整備し、児童虐待やいじめ、貧困の問題など表面化しにくい問題の早期発見・早期対応を図った。 (3,664)
	元気なあわっ子！外遊び推奨事業	肥満予防と生活習慣改善について、教職員及び保護者等が現状を把握し、肥満予防や視力低下予防のための外遊びを推進するため環境整備を行った。 (1,861)
	元気なあわっ子！応援事業	本県の子どもたちの健康課題である「肥満予防」・「生活習慣の改善」を図るため、全ての公立学校で「生活習慣改善プロジェクト」を実施し、各学校の実情に合わせた取組を推進した。 また、専門家を派遣し、学校、家庭及び地域が連携して児童生徒の健康課題を解決するための体制づくり、取組の支援及び専門家と連携した研修等を実施した。 (434)
	あわっ子運動部活動サポーター（部活動指導員）配置支援事業	学校教育活動の一層の充実及び教員の働き方改革の実現を図るため、中学校に部活動指導員を配置した。 (20,470)
	あわっ子文化部活動サポーター（部活動指導員）配置支援事業	学校教育活動の一層の充実及び教員の働き方改革の実現を図るため、中学校に部活動指導員を配置した。 (60)
	次代へ継承・文化芸術創造事業	本県の文化芸術力を全国に発信するために、平成27年に文化芸術リーディングハイスクールに指定した名西高等学校を文化芸術の拠点校として育成するとともに、城北高等学校人形会館を活用し、阿波人形浄瑠璃の伝承に取り組んだ。 (19,904)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
6. 健全な心身の育成	とくしま競技力向上指定校事業	高等学校の運動部活動において、全国大会で、継続的に上位入賞ができる運動部の強化と指導者の育成を図るため、トップ指定校・チャレンジ指定校のcategorieに分けて指定し、それぞれの特徴に応じた活動を支援した。 (12,595)
	渦潮スポーツアカデミー推進事業	未来のトップアスリートを徳島から発掘・育成・強化するため、鳴門渦潮高等学校をスポーツの拠点校として、県内アスリートの体力を科学的に測定・分析し、専門家のサポートを行ったほか、専攻実技8競技への強化費支援、部活動指導者へのスキルアップ研修等を実施した。 (12,155)
	全国中学校体育大会開催費	全国中学校体育大会が、令和5年8月17日から8月26日までの間、四国4県で開催され、徳島県中学校体育連盟が全国中学校体育大会徳島県実行委員会を運営し、県内施設において3種目の競技種目別大会を開催した。 (10,074)

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
教 育 政 策 課	373,759,000	591,570,440	591,570,440	0	0	217,811,440
教 育 D X 推 進 課	578,353,000	466,984,431	466,984,431	0	0	△ 111,368,569
施 設 整 備 課	256,952,000	237,986,925	237,986,925	0	0	△ 18,965,075
教 育 創 生 課	21,515,000	21,008,807	21,008,807	0	0	△ 506,193
教 職 員 課	10,518,794,000	10,919,057,300	10,919,057,300	0	0	400,263,300
福 利 厚 生 課	26,546,000	27,052,019	27,052,019	0	0	506,019
義 務 教 育 課	45,646,000	25,458,683	25,458,683	0	0	△ 20,187,317
高 校 教 育 課	503,636,000	250,038,606	250,038,606	0	0	△ 253,597,394
特 別 支 援 教 育 課	986,795,000	571,378,887	571,378,887	0	0	△ 415,416,113
人 権 教 育 課	13,843,000	307,668,984	24,019,391	1,783,960	281,865,633	10,176,391
い じ め ・ 不 登 校 対 策 課	60,255,000	58,660,072	58,660,072	0	0	△ 1,594,928
体 育 健 康 安 全 課	183,742,000	91,380,174	91,380,174	0	0	△ 92,361,826
生 涯 学 習 課	3,321,672,000	3,314,921,055	3,314,921,055	0	0	△ 6,750,945
計	16,891,508,000	16,883,166,383	16,599,516,790	1,783,960	281,865,633	△ 291,991,210

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 の 比 較
教 育 政 策 課	2,324,895,000	2,164,720,192	0	160,174,808	160,174,808
教 育 D X 推 進 課	1,136,869,000	956,992,420	115,160,000	64,716,580	179,876,580
施 設 整 備 課	5,269,424,000	3,471,250,791	1,517,628,000	280,545,209	1,798,173,209
教 育 創 生 課	35,250,000	32,131,220	0	3,118,780	3,118,780
教 職 員 課	58,769,057,000	58,177,237,104	0	591,819,896	591,819,896
福 利 厚 生 課	6,683,882,000	5,610,944,653	0	1,072,937,347	1,072,937,347
義 務 教 育 課	348,638,000	311,784,008	4,000,000	32,853,992	36,853,992
高 校 教 育 課	1,394,416,000	799,736,186	571,340,000	23,339,814	594,679,814
特 別 支 援 教 育 課	2,983,598,000	1,208,342,355	1,745,072,000	30,183,645	1,775,255,645
人 権 教 育 課	47,170,000	45,306,617	0	1,863,383	1,863,383
い じ め ・ 不 登 校 対 策 課	176,468,000	169,604,412	1,080,000	5,783,588	6,863,588
体 育 健 康 安 全 課	298,850,000	188,821,242	0	110,028,758	110,028,758
生 涯 学 習 課	1,849,594,000	1,832,220,693	0	17,373,307	17,373,307
計	81,318,111,000	74,969,091,893	3,954,280,000	2,394,739,107	6,349,019,107

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
生涯学習課	奨学金貸付金 特別会計	133,494,000	683,053,232	599,870,710	0	83,182,522	466,376,710
計		133,494,000	683,053,232	599,870,710	0	83,182,522	466,376,710

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
施設整備課	県有林県行造林 事業特別会計	250,000	247,868	0	2,132	2,132
生涯学習課	奨学金貸付金 特別会計	133,494,000	131,912,297	0	1,581,703	1,581,703
計		133,744,000	132,160,165	0	1,583,835	1,583,835